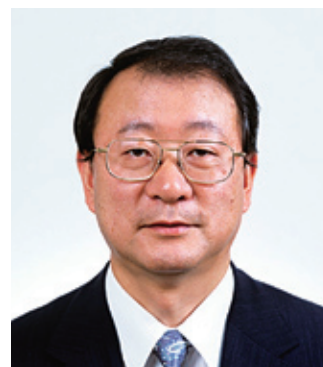


# 新春のご挨拶



西日本電信電話株式会社 代表取締役社長 村尾 和俊

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素よりNTT西日本グループの事業に、格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、世界的に高度化・多様化するICT市場において、わが国の情報通信インフラ環境は世界の中でもトップクラスであります。しかしながら、ICT国際競争力、電子政府発展度、学校インターネット利用率など利用者が価値を見出す多様なサービス開発などにおいては残念ながら後塵を拝しています。さらに、昨今のICT市場は質的に変化してきており、お客様の求める価値（ニーズ）が、“機能”（製品）から、“体験”（感動するサービス）に変化し、サービス間競争が進展しています。

加えて、スマートフォン等の多機能端末の登場により、固定通信とモバイル通信との競争も加速しており、私ども電気通信事業者としても、品質、通信速度といったインフラの高度化だけでは十分に競争優位を保てなくなってきています。

このような状況を踏まえ本年を展望いたしますと、サービス間競争と合わせて顧客獲得競争がますます進展するとともに、業界を超えた競争も相俟った混沌とした状況となり、取り巻く経営環境は一層厳しさを増すものと想定しております。

NTT西日本グループでは、このような状況を打破し、成長軌道への転換を早期に図るべく、“光サービスで新しい文化を創造”する新たな事業を推進してまいります。

これからは光サービスを活用して、いかに魅力的な

“体験”を創造していくかが、ますます重要になると考え、人と人、人とモノ、モノとモノなどあらゆるものを「つなぎ」、さまざまな生活・行動スタイルを「デザイン」することで、人々の暮らしを豊かにする新しい文化（利用シーン）の創出に取り組んでまいります。またこのことが、お客様に光回線を新たに、そして長期間ご利用いただくことにつながると確信しており、ビジネス、教育、医療、行政、街（暮らし）、交通、防災といったあらゆる分野において、安心・安全はもとより、快適性、効率性、自己実現などの多様な価値を創造し、お客様に『是非利用してみたい!』と提供いただける魅力的な“体験”を提案していきたいと考えております。

そのためにNTT西日本グループでは、多彩なコミュニケーションサービスやモバイル市場へのビジネスを積極的に推進しており、自社開発のみならず外部リソースの活用を両輪で展開するため「アライアンス推進室」「ビジネスデザイン推進室」「クラウドビジネス部」を設置しました。特に、コンテンツ・アプリケーションを中心に、お客様の強みと高度なICT基盤を有するNTT西日本グループの強みを活かしたWin-Winの関係を構築し、官民連携トライアルはもとより各方面とのビジネスアライアンスを実施しています。

例えば、医療分野では、広域的な医療連携や効率的な医療サービスが求められていることから、クラウド技術とデータセンタ基盤を活かした医療画像の保管サービスや、企業健保組合様および病院様と共同で遠隔健康指導を実施しています。

観光・行政分野では、自治体様と連携し、これまで

ホームページなどでパソコン向けに配信していた観光情報や行政情報の動画を「光BOX+」を用いてテレビ向けに生活密着情報として高画質で提供し、地域の活性化に貢献しています。さらに、ご自宅のテレビを「スマートテレビ」としてより便利で楽しくご利用いただけるよう、「光BOX+」のコンテンツを充実していきます。

教育分野では、学習塾様と連携しスマートフォンやタブレット端末と光Wi-Fiを組み合わせて、塾の講義(コマ)映像を自宅に配信する「リビング学習サービス」を提供し、いつでも、どこからでも教育を受けられる環境の整備に取り組んでいます。このようにWi-Fiの強みを活かし、光回線とスマートフォンやタブレット端末との多様なコラボレーションを実現すべく、Wi-Fiプラットフォームの拡充を推進していきます。

この他にも、BCPやWi-Fiに対応したクラウドメニューを充実させクラウドビジネスの積極展開も図っています。

また、電力を大量に使用する企業として省エネや環境問題に対応すべく、「グリーンNTT西日本戦略」を策定し、自社の電力使用量の削減などに取り組むとともに、省エネ社会の実現に向けて電力の見える化サービス「フレッツ・エコめがね」の提供やオムロン様と共同で株NTTスマイルエナジーを設立し、HEMSなど家庭向けの省エネ支援サービスや家電遠隔制御システムのトライアルなどを実施しています。

地域社会(街)全体の活性化に向けた「スマート光タウン」をはじめ、「スマート光ライフ」「スマート光オフィス」の実現にも取り組んでおり、熊本県・市様と共同で行政サービス効率化、産業振興、福祉・教育、住民参加型の自治、コミュニティの活性化などさまざまな課題解決に向けて、ICT基盤(プラットフォーム)、コンテンツ・アプリケーションによる新たなコミュニケーションモデルを創出しています。

さらに、これら光サービスをご利用いただきやすくするために、多様な料金プランを提供してまいります。

また、イーサネットやVPNなどのビジネス向けネットワークサービスの充実やオフィスICTをフルサポートする営業スタイルへの転換など戦略的に事業を展開するとともに、地域密着型企業として、これらビジネス戦略はもとより、サービス品質の向上に向け、マイグレーションや設備のスリム化を図る設備戦略、効率的なネットワークの構築とそれらの実行主体となる人材の確保・育成戦略についてもNTT西日本グループトータルで取り組み、事業運営の効率化を実現してまいります。あわせて、一昨年の東日本大震災の経験を踏まえ、今後想定される南海トラフ巨大地震といった大規模災害などへの、安心・安全・信頼への取り組みを推進してまいります。

これらさまざまな取り組みを通じて、フレッツ光の契約数900万の早期実現と多彩なサービスの提供によるARPUの向上を図り、音声系収入の減少をIP系収入の増加で補いきれないという収入ギャップを解消し、安定した財務基盤の確立と持続的な成長を確実に実現してまいります。

NTT西日本グループが一丸となって推進する新たな取り組みを、是非、通信建設会社様のご協力を得ながら展開していきたいと考えております。

お客様の価値を最大化するには、サービスの開発だけでなく、工事実施、ご利用開始とそれ以降までを含めたトータルの満足度を向上していかなければなりません。

真にお客様が必要とするサービスを提供し、新たな文化の創造を続けていくことが私たちNTT西日本グループの第一の使命であると考えており、これまで以上にNTT西日本グループとの連携を強化するとともに、安全作業の徹底はもとより、コンプライアンスの遵守、効率化によるコスト削減ならびに工物品質の向上に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。